
「コロナ危機、経済学者の挑戦」

2022年9月27日

藤井大輔・仲田泰祐(東京大学)

内容

- 「コロナ危機、経済学者の挑戦」(日本評論社)の概要
- 藤井仲田分析のこれまで
- 藤井仲田分析の現在と今後

「コロナ危機、経済学者の挑戦」の概要

概要

- 2021年3月から2022年4月までに行われた日本評論社によるインタビューのまとめ
 - 一部は「経済セミナー増刊:新型コロナ危機に経済学で挑む」(日本評論社)、経済セミナー編集部のNotelに掲載
 - <https://note.com/keisemi/m/m38871f3392a3>
- 藤井仲田分析に関わった11名の方々のインタビューも掲載
 - 大竹文雄(大阪大学)、久保田荘(早稲田大学)、北野宏明(ソニーコンピュータサイエンス研究所)、須江真太郎(共同通信)、中村英正(五輪組織委員会事務局)、服部直樹(みずほリサーチ&テクノロジーズ)、前村聡(日経新聞)、村野俊(テレビ朝日)、山下英俊(山形市保健所)、脇田隆字(国立感染症研究所)、和田耕治(国際医療福祉大学)
 - 肩書は当時

- 第1章 ある経済学者の挑戦——コロナ分析プロジェクトの船出
 - 章末インタビュー:大竹文雄、久保田荘
- 第2章 感染と社会・経済の見通しを描く——数理モデルと政策分析
 - 章末インタビュー:久保田荘
- 第3章 感染症専門家との対話——リスクをどう捉えるか？
 - 章末インタビュー:和田耕治
- 第4章 分析チームの構築とマネジメント——「毎週更新」実現のために
 - 章末インタビュー:藤井仲田チームのリサーチアシスタント
- 第5章 五輪分析に込めた思い——分断を乗り越えるために
 - 章末インタビュー:中村英正、前村聡
- 第6章 メディアとの対話——伝えることの難しさ
 - 章末インタビュー:前村聡、須江真太郎、村野俊
- 第7章 政策現場との対話——いかにして必要とされる知見を届けるか？
 - 章末インタビュー:北野宏明、服部直樹、山下英俊
- 第8章 感染症対策の背後で起きていること——広い視野で議論するために
- 第9章 感染症対策と社会・経済の両立をめざして
 - 章末インタビュー:大竹文雄・脇田隆宇

想定読者

- 研究者と協力することに興味のある政策現場の方々
- 政策現場・一般の人々に分析を届けることに興味のある研究者の方々
- 研究者による分析を報道することに興味のある方々
- 研究、政策、報道の世界に興味のある学生の方々
- コロナ禍における政策決定プロセスに興味のある方々
- 科学コミュニケーションについて考えたい方々

藤井・仲田分析のこれまで

背景

- コロナ危機発生後、多くの人々が「感染症対策と社会経済活動の両立」を模索
- その模索の道しるべとなり得る分析の欠如
 - 感染症対策に関する分析、コロナ危機に関する経済分析はもちろん数多く存在
- 藤井仲田分析
 - 「感染と経済の統合モデル」を構築
 - 両立を考えるための分析をリアルタイムで発信
 - 毎週更新、定期的なZoom説明会。<https://covid19outputjapan.github.io/JP/recording.html>
 - 緊急事態宣言解除基準分析、変異株、ワクチン配分、超過自殺、婚姻、出生、五輪、水際対策、「命の価値」分析、重症化率/致死率モニタリング、政策オプションレポート、第5波の感染減少要因、コロナ禍における数理モデルの役割、病床見通しツール、等。<https://covid19outputjapan.github.io/JP/resources.html>
 - 新しいHP: <https://www.bicea.e.u-tokyo.ac.jp/>

政策現場

- 2021年2月8日:コロナ分科会
- 2021年3月30日:西村コロナ対策担当大臣
- 2021年3月31日・6月2日-16日-30日・11月9日、2022年5月13日・7月13日:厚生労働省アドバイザリーボード(AB)
- 2021年4月7日・2022年7月7日:小池都知事
- 2021年4月8日・2022年7月7日:東京都モニタリング会議
- 2021年4月28日:加藤官房長官
- 2021年5月8日・6月22日:菅総理
- 2021年5月28日・6月17日・8月20日:五輪専門家ラウンドテーブル
- 2021年6月30日:閣僚会議
- 2021年7月から:内閣官房AI・シミュレーションプロジェクト
 - <https://www.covid19-ai.jp/ja-jp/>、<https://www.youtube.com/watch?v=kugYNwJ3QyQ>
- 分科会/AB・内閣官房コロナ室・官邸から頻繁に分析依頼

報道

- TV

- NHK, テレビ東京、テレビ朝日、フジテレビ、日本テレビ、読売テレビ、フェニックステレビ、他

- 新聞・文字メディア

- 朝日新聞、毎日新聞、日経新聞、産経新聞、読売新聞、東京新聞、共同通信、時事通信、他
- Wall Street Journal, Financial Times, AP Press, BBC, Bloomberg, 他
- BuzzFeed, Voice, Wedge, 他

2021年の振り返り

- 2021年は「感染と経済の統合モデル」の「感染」に関するシミュレーションのみを求められることが多かった
- 2021年前半においては、毎週データを取り入れて今後の感染見通しを示すことを実践していたのは、藤井仲田チームのみであったことをおそらく反映
 - 2021年2月後半・3月には内閣官房AIシミュレーションプロジェクトの倉橋・大澤・畝見チームが約隔週ペースで見通しを提示していたが、4-6月には更新は高頻度ではなかった
 - 2021年7月になるといくつかのチームが高頻度で感染シミュレーションを提示するようになった
 - 厚労省ABIに超短期感染予測(資料3-2)、短期感染予測(資料3-3)が登場したのは2021年2月・3月
 - しかしながら、ワクチン接種、変異株、人流、緊急事態宣言といった要素が含まれていなかった
 - こういった要素が考慮された感染シミュレーションは定期的にはなく「時おり」提出

コロナ禍における数理モデル分析

- 2021年5月5日: コロナ感染症対策のフォワードガイダンス
 - https://covid19outputjapan.github.io/JP/files/FujiiNakata_ForwardGuidance_Slides_20210505.pdf
- 2021年7月5日: アドバイザリーボードの中・長期見通し
 - https://covid19outputjapan.github.io/JP/files/FujiiNakata_Outlook_Slides_20210705.pdf
- 2021年11月19日: 第6波に向けた分析体制の構築—8月12日の分科会「人流5割削減」提案からの教訓—
 - https://covid19outputjapan.github.io/JP/files/FujiiNakata_0812Review_20211119.pdf、<https://toyokeizai.net/articles/-/470431>
- 2021年12月23日: コロナ禍における内閣官房AI-SIMチームの役割
 - https://covid19outputjapan.github.io/JP/files/Nakata_AISimTeam_20211223.pdf
- 2021年12月23日: 2021年後半の厚労省アドバイザリーボードの見通し
 - https://covid19outputjapan.github.io/JP/files/Nakata_ABOutlook2021_20211223.pdf
- 2022年3月7日: 政策と専門知—アメリカの金融政策と日本のコロナ対策の現場—
 - https://covid19outputjapan.github.io/JP/files/Nakata_20220307.pdf
- 2022年8月24日: 2022年前半の厚労省アドバイザリーボードの見通し
 - <https://www.bicea.e.u-tokyo.ac.jp/policy-analysis-28/>

2022年の振り返り

- 2022年は病床見通しと社会経済への被害に関する分析に注目が集まった
 - 第6波の重症化率モニタリング
 - 病床見通しツール
 - 婚姻・出生・自殺
- コロナとの共存を求める声が増加したことをおそらく反映
 - 第6波以降は平田チームとCATsチームを始めとした他チームも感染予測を高頻度で提供していたこともおそらく反映

藤井・仲田分析の現在と今後

現在

- 第7波においては、これまでと同様に高頻度で今後の見通し等のレポートを提供
 - 超過自殺、婚姻・出生、社会経済活動、GDP国際比較、水際対策、47都道府県の病床見通し、重症化率・致死率の見通し
- 同時に、これまでのレポートの英語論文化
 - The Effects of Hosting the Olympic and Paralympic Games on COVID-19 in Tokyo: Ex-Ante Analyses
 - <https://www.bicea.e.u-tokyo.ac.jp/research-paper-2/>
 - Understanding Cross-Country Heterogeneity in Health and Economic Outcomes during the COVID-19 Pandemic: A Revealed-Preference Approach、<https://www.bicea.e.u-tokyo.ac.jp/research-paper-3/>
 - COVID-19 and Suicide in Japan、<https://www.bicea.e.u-tokyo.ac.jp/research-paper-5/>
- コロナとの共存に向かうにつれて高頻度な政策分析の付加価値は低くなると想定
 - 徐々に学術研究にシフト

今後

- 科研費基盤(S)「感染症対策と社会経済活動の両立」
- 以下の3分野に関して学術研究を進める
 - 感染と経済の統合モデルを利用したパンデミックにおける最適な政策の分析
 - コロナ禍における政策の効果検証、コロナ危機の社会経済への影響の分析
 - コロナ禍における科学コミュニケーション・政策決定プロセスの検証
- その他
 - 定期的な研究会の開催
 - 書籍
 - 大学での講義

第1回パンデミック政策研究会

第1回コロナ政策研究会

9月10日(土)、11日(日)
名古屋 JR ゲートタワーホテル
16階 会議室 07~09
主催: 仲田泰祐 (東京大学)

9月10日(土)

9:00-9:30: 仲田泰祐 (東京大学)

- パンデミックにおける感染症対策と社会経済活動の両立

9:30-10:45: 村山泰章 (国際医療福祉大学)

- Age-Dependent Effects of COVID-19 Vaccine and of Healthcare Burden on COVID-19 Deaths, Tokyo, Japan
- The Impact of Temperature on the Transmissibility and Virulence of COVID-19 in Tokyo, Japan

10:45-11:30: 千葉安佐子 (東京財団)、佐々木大 (東京大学)

- コロナ禍における婚姻・出生

11:30-13:30: 昼食

13:30-14:15: 大竹文雄 (大阪大学)

- 基調講演: 新型コロナ感染症対策を振り返る

14:15-15:15: 米倉頌人 (千葉大学)

- Estimating Waning Vaccine Effectiveness from Population-level Surveillance Data in Multi-Variant Epidemics

15:30-16:30: 宮下翔光 (London School of Economics)、別府正太郎 (東京大学)、岡本亘

- 厚労省アドバイザリーボードの感染見通し

16:30-17:30: 北村周平 (大阪大学)

- 大阪府における時短金の効果検証

9月11日(日)

9:00-10:00: 高久玲央 (一橋大学)

- Vaccination under the Pandemic and Political Support

10:00-11:00: 畝矢寛之、川脇颯太、坂本大樹、芳賀沼和哉 (東京大学)

- 感染と経済の統合モデル: Literature Review

11:00-11:45: 平田晃正 (名古屋工業大学)

- 深層学習による感染シミュレーション: 第5波から第7波までの分析事例

11:45-13:30: 昼食

13:30-14:15: 小林慶一郎 (慶應義塾大学・東京財団政策研究所)

- Recursive Expectations Approach in Policy Making

14:15-14:45: 小寺紗千子 (名古屋工業大学)

- 名古屋市におけるコロナ禍救急搬送の分析事例

14:15-15:15: 千葉安佐子 (東京財団政策研究所)

- 第6波以降の休園・休校

15:30-16:30: 小島健 (創価大学)

- Heterogeneous Risk Attitudes and Wave of Infection
- Optimal Policy in a Macro-SIR Model

16:30-17:30: 國谷紀良 (神戸大学)

- ワクチン配分戦略



「ECONOMIC ANALYSES OF PANDEMICS」

- 2023年度以降、「Economic Analyses of Pandemics」を開講
 - 岩本康志教授と共同運営
- 以下のトピックをカバー
 - 感染症のモデル
 - 感染と経済の統合モデル
 - 日本のコロナ政策
 - 給付金、休校、緊急事態宣言、財政・金融政策、水際対策、コロナ病床補助金、検査体制、政策コミュニケーション、科学コミュニケーション、感染症法、特措法、等
 - 他国のコロナ政策
 - 過去のパンデミック

- Taisuke Nakata is supported by JSPS Grant-in-Aid for Scientific Research (KAKENHI), Project Number 22H04927, the Research Institute of Science and Technology for Society at the Japan Science and Technology Agency, COVID-19 AI and Simulation Project (Cabinet Secretariat), the Center for Advanced Research in Finance at the University of Tokyo, and the Tokyo Center for Economic Research.

- 過去・現在の政策分析と研究

- <https://www.bicea.e.u-tokyo.ac.jp/>
- <https://covid19-icu-tool.herokuapp.com/>
- <https://covid19outputjapan.github.io/JP/resources.html>